

2012
春季生活
闘争関連

労働局要請



～今後の労働行政の取り組みへ反映～

連合愛媛は、3月14日(水)に2012春季生活闘争の取り組みの一環として毎年実施している愛媛労働局要請を中小共闘センター(非正規労働センター)委員会・竹森委員長、泉副委員長をはじめ11名で実施しました。

はじめに、木原会長から「この一年は、誰しもが思い心を痛めた一年だったと思っています。先日、東日本大震災1周年追悼式が執り行われ全国・世界中からも黙とうが捧げられ犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災地の復興を一日も早く成し遂げるように願います。一方で私たちを取り巻く情勢・状況は、中東の原油高騰、円高、タイの洪水等の懸念材料があり、行先不透明な状況が続いています。雇用情勢を見ても、ここ十数年悪化の一途をたどっており、非正規の問題、ワークシェア、生活保護者等の課題が山積している。この実態を払拭しない限り日本再生はないと言っても過言でないと思っています。このような情勢を踏まえ、2012春闘に取り組んでおります。私たち働く者が安心して暮らし、安心して働く続けられる社会を実現するためにも、労働局の皆さんの役割は非常に重要な位置づけとなっております」とあいさつを行いました。

これに対して、田中愛媛労働局長は「本日は春闘の重要な取り組み中ではありますが、率直な意見交換をしていきたいと思っております」とのあいさつがありました。

その後、労働局より要請に対する見解が示され、十分な意見交換を行いました。

最後に、今回の連合愛媛の要請内容を踏まえ、2012年度の労働行政に活かして行く事を確認し終了しました。



見解を示す田中愛媛労働局長



閉会あいさつ
(中小共闘センター委員会 竹森委員長)

I	雇用・労働対策全般について	7項目
II	公正なワークルールの確立について	4項目
III	労働安全衛生について	3項目
IV	仕事と生活の調和・両立(ワーク・ライフ・バランス)支援について	2項目
V	2012年度生活できる最低賃金水準の確保について	3項目

2012春季生活闘争学習会

東予地協(四国中央支部・新居浜支部・西条支部)

3月8日(木)に四国中央市市民会館(三島会館)で、「2012連合愛媛春季生活闘争学習会(東予地協)」を開催し、各支部役員、組合員等から59名が参加しました。

学習会では、菊川副事務局長より、「連合愛媛2012春季生活闘争の考え方」について、「連合春闘=中小春闘」であることを基本にポイントをしぼり説明を受けました。引き続き、杉本事務局長より「連合愛媛の活動等」と題し、①今日までの連合愛媛の取り組み、②3.11東日本大震災への対応(ボランティア)、③がれき受け入れ要請の詳細について説明を受けました。

最後に、曾我部議長から「取り巻く情勢が厳しいことは、互いに認識しているが、労働者の生活安定を第一義に要求満額回答に向け、それぞれの組合で交渉の強化を図ろう」と力強い決意を述べ、参加者全体で確認し学習会を終了しました。



真剣に耳を傾ける参加者



閉会あいさつ 曾我部議長

中予・今治地協今治支部

四国労働金庫今治支店2階会議室において、『連合愛媛2012春季生活闘争学習会』を開催しました。中予・今治地協今治支部 砂田支部長(瀬戸内労組)、連合愛媛 木原会長から「大手企業の回答が出そろい、厳しい回答でしたが、愛媛県内未組織の企業で働く者達のために何としても一定の水準を勝ち取って欲しい」と力強いあいさつがありました。

学習会では、①連合愛媛2012春闘の考え方については、菊川副事務局長より連合愛媛のめざす春闘についての説明を受けました。②連合愛媛の活動等については、杉本事務局長より「働くことを軸とする安心社会」、東日本大震災への連合の対応と活動報告、また、今年2月に知事要請した「がれきの受け入れ要請」の経緯と詳細について説明を受けました。

意見交換では、「がれきの受け入れ要請」について数点の意見・質問が出され、連合愛媛から受け入れ要請に至るまでの詳細経過や被災地の現状を含め説明し、参加者全員で共有を図りました。

最後に、中予・今治地協今治支部 井川副支部長(自治労市職員労組)より、引き続き、中予・今治地協の取り組みについて強化していくことを確認し学習会を終了しました。



閉会あいさつ 砂田支部長



説明する杉本事務局長

2012春季生活闘争総決起集会

『2012春闘方針』を共有化

1,100人の参加者で確認

連合愛媛は、3月4日(日)に松山市民会館中ホールにおいて、愛媛県内各地より組合員、家族、来賓等1,100名が参加し、「2012春季生活闘争総決起集会」を開催しました。

はじめに、第1部として東日本大震災1周年『絆』集会を開催し、①東日本大震災発生以降、取り組んできた連合および連合愛媛の活動についてDVDで報告、②国会議員4名より、民主党として被災地への対応等について報告を受けました。

引き続き、第2部として2012春季生活闘争総決起集会に移し、杉本事務局長より「2012春季生活闘争」の方針説明・状況報告を行いました。

決意表明では、①民間労組代表としてUIゼンセン同盟・常任の柏田 達範さん、②官公労部門代表として自治労愛媛本部・青年委員長の山本 時也さんが、中小地場組織の置かれた立場やそれぞれの立場で現状報告を行い、力強い決意を述べられました。

最後に、「総決起集会アピール」「3.4『絆』集会アピール」を採択したのち、木原会長の「団結ガンバロー三唱」で集会をしめくり、市内中心部に向けデモ行進を行いました。



『3.8国際女性デー』街頭行動を実施 女性委員会役員が中心となって市民へ訴える

連合愛媛女性委員会および青年委員会は、3月4日(日)2012春季生活闘争総決起集会終了後に、「3.8国際女性デー」の全国統一行動の一環として、いよつ高島屋前において街頭行動を実施しました。

当日は、連合女性委員会、青年委員会を中心に約30名で、活動の象徴である「バラ」のキャンドルとティッシュを1,500個セットで配布し、①すべての人にデーセントワークが保障され、②だれもがワーク・ライフ・バランスを実感し、③社会のあらゆる分野、とりわけ職場、労働組合における男女平等参画が普通の姿である、「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざした連合の取り組みを県民・市民に力強く訴えました。

参考

3.8国際女性デーの象徴は、賃金・労働条件向上を表す「パン」と女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」を掲げデモを行った。今も全世界で様々な行動が展開されている。

